



令和5年3月1日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

特別展「恐竜博 2023」報道内覧会のご案内

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）では、2023年3月14日（火）から6月18日（日）まで、特別展「恐竜博 2023」を開催いたします。

ついては、3月13日（月）14時から特別展「恐竜博 2023」報道内覧会を開催いたします。ぜひこの機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、別添資料をご覧ください。

特別展「恐竜博 2023」報道内覧会

【日時】2023年3月13日（月）（受付開始 14:00）※事前申込 1媒体2名様まで

14:00～15:30 自由内覧

14:30～ 監修者紹介・見どころ解説（国立科学博物館 副館長 真鍋 真）

【会場】国立科学博物館 地球館 特別展示室（東京・上野公園）

特別展「恐竜博 2023」

【会期】2023年3月14日（火）から6月18日（日）

【会場】国立科学博物館 地球館 特別展示室（東京・上野公園）

【主催】国立科学博物館、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課（特別展担当）

高橋・泉谷・堀田

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL : 03-3822-0111 FAX : 03-5814-9898

<取材に関するお問い合わせ先>

特別展「恐竜博2023」広報事務局（共同PR内）

担当：安田、西田、三井

TEL : 03-6264-2382

E-mail : dino2023-pr@kyodo-pr.co.jp

恐竜博2023

特別展「恐竜博 2023」報道内覧会のご案内

日時:2023 年 3 月 13 日(月)14:00~15:30(受付開始 14:00~)

会場:国立科学博物館 地球館地下 1 階 特別展示室(東京・上野公園)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

国立科学博物館(東京・上野公園)では、2023 年 3 月 14 日(火)から 6 月 18 日(日)まで、特別展「恐竜博 2023」(主催:国立科学博物館、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社)を開催します。

本展は、「攻・守」を切り口に、最前線の研究や、恐竜絶滅の謎に迫る展覧会です。「守」を代表する恐竜として、カナダ・ロイヤルオンタリオ博物館(ROM)以外では初公開となる**ズール・クルリヴァスタール**の実物化石がやってきます。「攻」を代表する恐竜として、ズールと同じ時代に生きた**ゴルゴサウルス**(ティラノサウルス類)の全身復元骨格を、ズールの全身復元骨格と相対するように展示します。

また、2022 年に新種と発表された、南半球の頂点的存在だったといわれる肉食恐竜**マイプ・マクロソラックス**を、白亜紀最末期に北半球の生態系のトップにいた**ティラノサウルス・レックス**などに対比させながら紹介します。当時の恐竜たちの「攻・守」を臨場感ある展示で体感いただきながら、恐竜の進化を読み解きなおします。

本展の開催に先立ちまして、3 月 13 日(月)14:00 より、報道内覧会を開催いたします。当日は、本展監修の真鍋 真(国立科学博物館 副館長)のご紹介と見どころ解説を行う予定です。下記概要にて開催致しますので、ご多忙かと存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具



【特別展「恐竜博 2023」報道内覧会 開催概要】

- 日時 2023年 3 月 13 日(月)14:00~15:30(受付開始 14:00)
- 会場 国立科学博物館 地球館地下 1 階 特別展示室(東京都台東区上野公園 7-20)
- 内容 14:00~15:30 自由内覧
14:30~ 監修者紹介・見どころ解説【真鍋 真(国立科学博物館 副館長)】
※開会式の実施はございません。受付を済ませた方から順次内覧いただけます。
※見どころ解説終了後、自由内覧終了時間まで、監修者は個別の質問にお答えいたします。
※15:30 以降も自由内覧は可能ですが、撮影は不可となります。
※音声ガイドを無料でお貸出いたします。

<報道に関するお問い合わせ>

特別展「恐竜博 2023」広報事務局(共同 PR 内)担当:安田、西田、三井
TEL:03-6264-2382 | E-mail: dino2023-pr@kyodo-pr.co.jp
※当日の連絡先 090-7909-5164(安田)、070-4303-7271(西田)

特別展「恐竜博 2023」の見どころ

「攻・守」が進化させた恐竜たち

今からおよそ 2 億 3000 万年前の中生代三畳紀、最初期の恐竜は全長 1m くらいの肉食だったと考えられています。その中から豊富な資源である植物を主食とする恐竜が出現し、恐竜の形や大きさに多様性が生まれました。本展では、究極の防御のためにトゲやプレートを進化させた装盾類の進化、そのような進化に対抗しなくてはならなかったさまざまな肉食恐竜たちの進化を比較しながら、恐竜たちの「攻・守」をキーワードに、恐竜学の最前線を解説します。



<ズール(左)とゴルゴサウルスの対峙シーン>
©Royal Ontario Museum
photographed by Paul Eekhoff

鎧竜屈指の完全度を誇るズール 全身実物化石が日本初上陸！

肉食恐竜から身を守るためのトゲトゲした骨質のウロコからなる装甲、肉食恐竜の骨を破壊するような強力な棍棒をもつ尾が特徴。「クルリ」はラテン語で脛、「ヴァスタトル」は破壊者を意味しており、長さ 3m もある尾の先にある推定 7kg の棍棒を振りまわすと、ゴルゴサウルスの脛をも破壊する威力があったと考えられています。

1個体で頭骨から尾の棍棒まで発見されたのはアンキロサウルス類で初めて。その完全度、保存状態の良さから、鎧竜の進化を解明する大きな手がかりのひとつとなる恐竜です。頭骨から尾の棍棒までを、生きていた時の姿のように観覧できる展示手法に世界で初めて取り組みます。



<ズール・クルリヴァスタトルの胴体部分(実物化石)>
©Royal Ontario Museum
photographed by Paul Eekhoff

北半球の王者 ティラノサウルス類



ズールと相対したゴルゴサウルスなどのティラノサウルス類は、後期白亜紀に急激に大型化し、アジアと北アメリカの生態系で食物連鎖の頂点に上り詰めました。本展では、ゴルゴサウルスや史上最重量個体のティラノサウルス「スコッティ」などから、恐竜の「攻」の進化に迫ります。

<ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格>
むかわ町穂別博物館所蔵
©Courtesy of The Royal Saskatchewan Museum

南半球の王者 新種の肉食恐竜、マイプ・マクロソラックスを日本初公開！

本展監修者の真鍋真(国立科学博物館 副館長)らの調査隊によって、2020 年にアルゼンチンで発掘され、2022 年に新種として命名された肉食恐竜。推定全長10m はメガラプトル類の中で最大級であり、白亜紀最末期の種だと考えられるマイプ。この発見により、北半球の王者ティラノサウルス類に対して、南半球ではその座にメガラプトル類がいたその可能性が高くなりました。

【特別展「恐竜博 2023」報道内覧会 参加申込】

ご多用の折、誠にお手数ですが、ご参加いただける場合は、**別紙**のご参加に関するの注意事項をご一読の上、**3月10日(金)17:00まで**に必要事項をご記入の上、申込フォーム、E-mail または FAX にてお申し込みいただきますようお願い致します。

申込フォーム: <https://tayori.com/f/dino2023-nairankai>

E-mail: dino2023-pr@kyodo-pr.co.jp または FAX 送信先: 03-6700-5620

- 日 時： 2023年3月13日(月)
14:00～15:30(受付開始 14:00)
- 会 場： 国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室
(東京都台東区上野公園 7-20)
※特別展入口(SL 横)よりご入場ください。
- アクセス： JR「上野駅」(公園口)から徒歩 5 分
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」(7番出口)から
徒歩 10 分、京成線「京成上野駅」(正面口)から徒歩 10 分
※車でのご来場はご遠慮ください。
※敷地内に駐車場および駐輪場はありません。

[illegible]

※ご連絡いただいた個人情報は、本展の広報活動以外の目的で使用することはありません。

<報道に関するお問い合わせ>

特別展「恐竜博 2023」広報事務局(共同 PR 内)担当:安田、西田、三井

TEL:03-6264-2382 | E-mail: dino2023-pr@kyodo-pr.co.jp

※当日の連絡先 090-7909-5164(安田)、070-4303-7271(西田)

別紙①

【注意事項】

<会場取材時のルール>

■ご参加は1媒体2名様まででお願いいたします。

(テレビ撮影など、撮影人数が必要な場合は上記の限りには含みません。)

■撮影した画像・動画は、会期後および展覧会紹介の目的以外での転用・二次使用はできません。

また、無断使用は固くお断り致します。

■撮影写真を掲載・放送していただく際は、展覧会名、会期、会場名、作品名、所蔵先・クレジット表記をご記載いただくようお願い申し上げます。

<撮影上の注意>

■三脚の使用が必要な場合は、作品および展示等に十分ご注意ください。

■ストロボ・照明での撮影はご遠慮ください。

■展示作品のトリミングおよび展示作品の上に文字を載せることはできません。

■展示作品にはお手を触れないようお願い致します。

<その他>

■展覧会場では、電源を供給することはできません。

■その他の施設の撮影、取材をご希望される場合は、別途事前にご相談ください。

■次の方は、ご参加をお控えください。

・平熱と比べて高い発熱がある方

・咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛など風邪のような症状がある方

■ご入場前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方はご入場をお断りいたします。

■会場内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退場をお願いする場合があります。

■マスク着用は個人の判断が基本となります。

■大声を出さず、静かにご観覧ください。

■こまめな手洗いや手指消毒をお願いします。

■まわりの方との距離を保ってご観覧ください。

■スタッフはマスク等を着用し対応いたします。

今度の主役は「トゲトゲ」だ!

美しい^{よろいりゅう}鎧竜
全身の実物化石
日本初公開



*Zuul
crurivastator*

2023 3.14(火)
▶ 6.18(日)

恐竜博 2023

THE DINOSAUR EXPO

国立科学博物館 東京・上野公園
National Museum of Nature and Science, Tokyo (Ueno Park, Tokyo)

開館時間

9時～17時(入場は16時30分まで) [休館日] 月曜日

※会期等に変更になる場合がございます。
※入場方法等の詳細は決定次第、公式サイトでお知らせします。

[入場料(税込)] 一般・大学生:2,200円、小・中・高校生:600円 ※未就学児は無料。 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※ご入場されるお客様は公式サイトより日時指定予約が必要です。当日博物館で販売する当日券での入場枠も設けておりますが、ご入場までお待ちいただく場合があります。入場枠が完売した際はご入場できません。

[主催] 国立科学博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社 [協賛] 鹿島建設、Gakken、DNP大日本印刷

[学術協力] ロイヤルオンタリオ博物館 [お問い合わせ] ハローダイヤル:050-5541-8600 FAX:03-5814-9898
ズール・クルリヴァスタトルとゴルゴサウルス・リブラトゥス ロイヤルオンタリオ博物館(カナダ・トロント)蔵 写真はともに © Royal Ontario Museum

要日時
指定予約



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

NHK

NHKプロモーション

朝日新聞

“攻守”が進化させた恐竜！

本展では、“究極”の防御のために全身を覆う鎧をもった鎧竜類の進化と、そのような植物食恐竜たちに対抗しなくてはならなかったティラノサウルス類やメガラプトル類などの肉食恐竜の進化を対比させながら、恐竜たちの「攻め・守り」をキーワードに、恐竜学の最前線を解説します。

CHECK 01 鎧竜屈指の完全度を誇るズール 全身実物化石が日本初上陸！

1個体で頭骨から尾の棍棒まで発見されたのはアンキロサウルス類で初めて。その完全度、保存状態の良さから、鎧竜の進化を解明する大きな手がかりのひとつとなる恐竜です。種小名の「クルリ」はラテン語で「脛」、「ヴァスタトル」は破壊者を意味しています。

ズール・クルリヴァスタトル

分類：鳥盤類 鎧竜類 アンキロサウルス類
推定全長：6m 時代：白亜紀後期



© Royal Ontario Museum



頭骨

映画『ゴーストバスターズ』に登場する門の神「ズール」を彷彿とさせる顔つき



背中

肉食恐竜から身を守るためのトゲトゲした骨質のウロコからなる装甲



棍棒

肉食恐竜の脛を破壊するような強力な棍棒をもつ尾

© Royal Ontario Museum, photographed by Paul Eekhoff

全身復元骨格で再現

ズール VS ゴルゴサウルス



ズールの棍棒によって破壊されたと考えられる、ゴルゴサウルスの脛が発見されています。

ズールと対峙した肉食恐竜 ゴルゴサウルス・リブラトゥス

分類：竜盤類 獣脚類 ティラノサウルス類
推定全長：9m 時代：白亜紀後期

CHECK 02 “北半球の王者” ティラノサウルス類

ティラノサウルス・レックス

分類：竜盤類 獣脚類 ティラノサウルス類
推定全長：13m 時代：白亜紀後期

ティラノサウルス類は、白亜紀最末期にさらに大型化し、北アメリカの生態系で食物連鎖の頂点に上りつめました。本展では、ゴルゴサウルスや史上最重量個体のティラノサウルス「スコッティ」などから、恐竜の「攻」の進化に迫ります。



ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格（むかわ町博物館所蔵）
© Courtesy of The Royal Saskatchewan Museum

CHECK 03 “南半球の王者” 新種の肉食恐竜を日本初公開！

マイブ・マクロソラックス

分類：竜盤類 獣脚類 メガラプトル類
推定全長：9m 時代：白亜紀後期

本展監修者の真鍋真（国立科学博物館 副館長）らの調査隊によって、2020年にアルゼンチンで発掘され、2022年に新種として命名された肉食恐竜。推定全長9mはメガラプトル類の中で最大級であり、白亜紀最末期の種だと考えられるマイブ。この発見により、北半球の王者ティラノサウルス類に対して、南半球ではその座にメガラプトル類がいた可能性が高くなってきました。



マイブ・マクロソラックス発掘現場（2020年）
photographed by Matias Motta, 2020



© NHK

CHECK 04 恐竜絶滅の謎に迫る新事実

ティラノサウルスやマイブのような大きな恐竜たちは、約6600万年前の隕石衝突後の世界に生き残れませんでした。恐竜の一部である鳥類も、森林の減少によって多くが絶滅してしまいました。明暗を分けたほんの少しの違いなど、最新研究を紹介します。



© NHK

国立科学博物館 東京・上野公園 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

アクセス：JR「上野」駅（公園口）から徒歩5分／東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅（7番出口）から徒歩10分／京成線「京成上野」駅（正面口）から徒歩10分 ※敷地内に駐車場および駐輪場はございません。

お問い合わせ 050-5541-8600（ハローダイヤル）FAX:03-5814-9898 | 国立科学博物館サイト <https://www.kahaku.go.jp>

展覧会公式サイト
<https://dino2023.exhibit.jp>

公式Twitter・Instagram
@dinoexpo2023

公式サイト

